

準用河川山際川洪水浸水想定区域図

(計画規模) 1時間最大雨量 50mm①

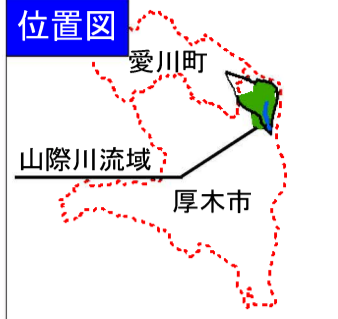
1 概要

計画規模の降雨があった場合の洪水浸水想定区域を表示した図面です。河川が氾濫した場合に、皆様の地域でどの範囲がどれだけ浸水するおそれがあるのかを示すものです。
 計画規模とは、河川整備の目標とする降雨量として、おおむね5年以内に一度発生する1時間最大雨量 50mm(計画規模)の降雨を想定しています。
 浸水深とは、浸水域の地面から水面までの高さを表します。
 想定最大流域とは、計画規模以上の降雨により、地形的に準用河川山際川へ流入する流域となっています。

2 基本事項

- (1) 作成 平成 31 年 3 月
- (2) 対象となる河川 準用河川山際川

上流端：山際字神明ノ木地先 下流端：相模川合流点



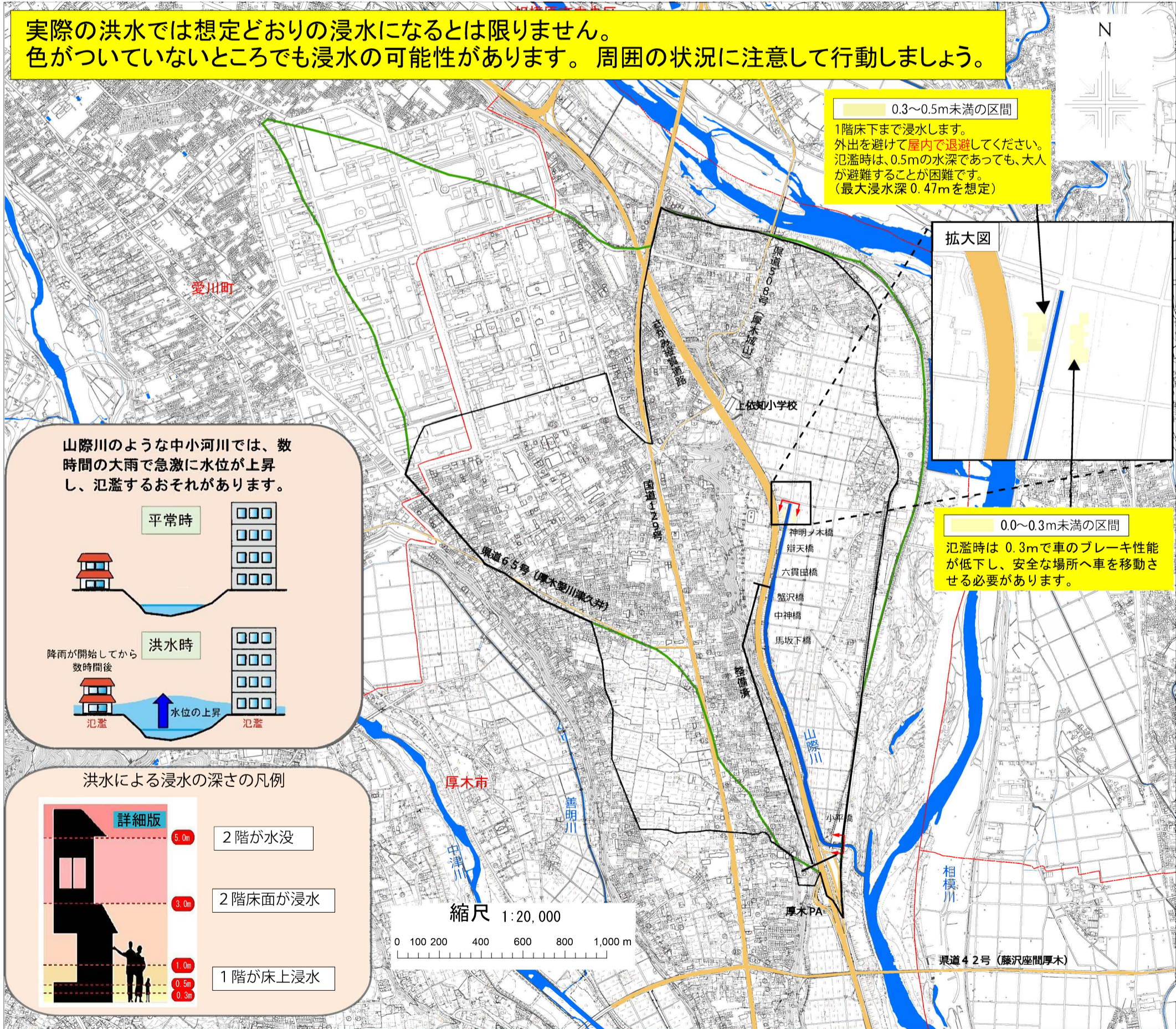
凡例

浸水した場合に予想される水深(ランク別)

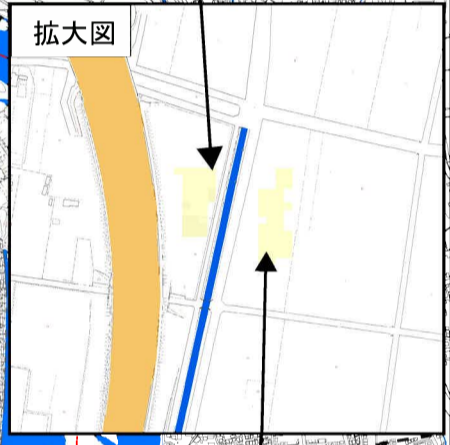
- 0.0~0.3m未満の区間
- 0.3~0.5m未満の区間
- 0.5~1.0m未満の区間
- 1.0~3.0m未満の区間

- 準用河川区間
- 流域界
- 想定最大流域界
- 行政界

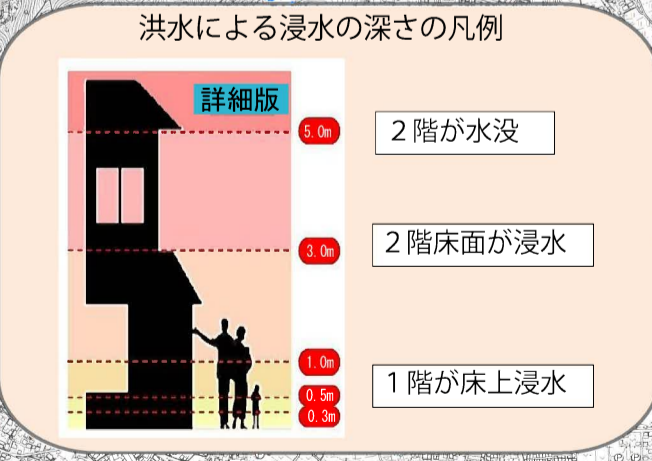
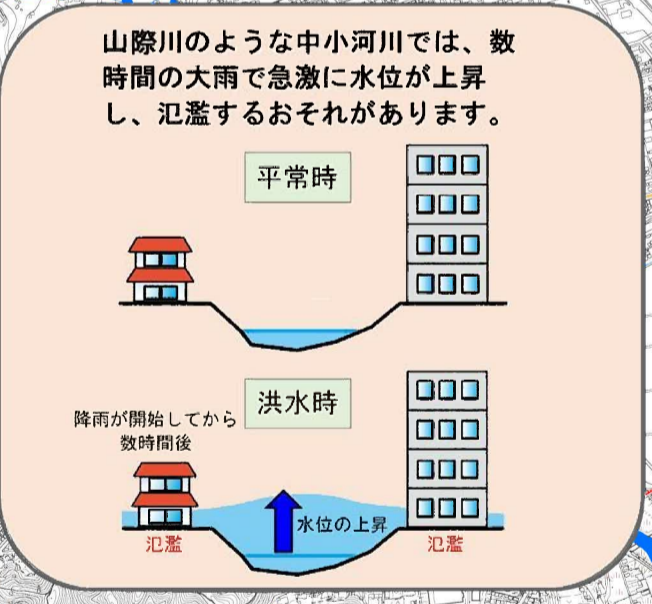
実際の洪水では想定どおりの浸水になるとは限りません。色がついていないところでも浸水の可能性があります。周囲の状況に注意して行動しましょう。



0.3~0.5m未満の区間
 1階床下まで浸水します。外出を避けて**屋内で退避**してください。氾濫時は、0.5mの水深であっても、大人が避難することが困難です。(最大浸水深 0.47mを想定)



0.0~0.3m未満の区間
 氾濫時は 0.3mで車のブレーキ性能が低下し、安全な場所へ車を移動させる必要があります。



気象情報や周りの状況などに注意して、浸水する前に早めに行動してください。浸水した後の避難は大変危険です。御自宅の造り(木造・非木造)や階数、位置と浸水の程度を確認して行動してください。

1時間の最大雨量 50mmの計画規模で整備済の地図記載区間については浸水しませんが、整備が済んでいない上流区間においては浸水する想定となりました。

準用河川山際川の洪水の氾濫による浸水のほかに、一級河川相模川における洪水の氾濫による浸水が発生する可能性があることにも注意してください。

ご自分の地域やご自宅付近で、どの程度の浸水になるか、この洪水浸水想定区域図で確認してください。